

ニュース高等専修

文部科学省委託事業／「高専連携分野職域プロジェクト・発達障がい分野」

平成27年度成果報告会



このあと、発達障がい分野の事業成果報告に移り、大岡学園高等専修学校と武蔵野東高等専修学校の2校が職域プロジェクト事業の成果報告を行いました。

武蔵野東高等専修学校は「発達障害のある生徒等、特別に配慮が必要な生徒が学ぶための教育カリキュラム等の開発～職業教育と混合教育（インクルーシブ教育）の成果～」について報告しました。

27年度の具体的な事業は①混合教育のモデルカリキュラムの開発②全国の高等専修学校を対象にしたアンケート調査の実施③混合教育実践事例のとりまとめ④混合教育DVDの制作⑤混合教育、障がいのある生徒への理解、共生等について普及・啓発～などで、健常者と発達障がい者が共に学ぶ混合教育の成果や次年度の課題等について報告しました。

次年度の課題として、「発達障がいのある生徒に対する就労支援や卒業生のフォロー支援の継続」「進路指導モデルカリキュラム開発の継続」「就労に向けた教育実践」などを挙げていました。

「大学入学資格付与（高等学校卒業程度）指定校」の名称変更について

全国高等専修学校協会（清水信一会長）は、高等専修学校の社会的認知度の向上を図るため、現在の「大学入学資格付与指定校」制度の名称を変更して、高等学校と並ぶ後期中等教育機関としての位置づけを明確にすることになりました。

具体的には現行の「大学入学資格付与（高等学校卒業程度）指定校」高等専修学校（自校名）と表記することとし、本年2月の理事会で申し合わせました。

今後、6月22日に開催される定例総会に提案し、全国的に表記を統一する予定です。

文部科学省委託事業／平成27年度成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進事業『高専連携分野職域プロジェクト・発達障がい分野』の成果報告会が2月19日、東京・千代田区九段北のアルカディア市ヶ谷で開催されました。

まず全国高等専修学校協会の清水信一会長が「27年度から発達障がい分野が加わりました。私たち高等専修学校では、発達障がいの生徒が在校生の12.6%を占めていて、高校の2.2%を大きく上回っています。私が委員を務めている教育再生実行会議では“発達障がいと不登校”のテーマで議論を行っています」と述べた上で、「私たちの教育はまさに職業教育に加えて、特別支援教育であり、高等専修学校は高校教育ではなし得ない教育を行っているのです。このことをしっかり社会に発信して私たちの存在感を示し、必要とされる子供たちのために高等専修学校は輝き続けていかなければなりません」とあいさつしました。

このあと、文部科学省生涯学習政策局の白鳥綱重専修学校教育振興室長が「高等専修学校でしかできない、高等専修学校だからできる」といった教育の内容を皆様の力でもっと高めてもらい、より見える形で社会に発信していただきたいと思います。行政としても、高等専修学校教育の振興を図り、その役割の周知徹底に努め

て参ります」とあいさつしました。

続いて、『平成27年度高等専修学校における体験型職業教育と外部との連携に関する実態調査』の結果について、鳥取大学大学教育支援機構の長尾博暢准教授が発表しました。

それによりますと、「インターンシップや校外実習を行っている高等専修学校」は43.9%で、前年より5ポイント上昇しました。また3学年での実施が41.1%を占め、1・2年生での実施が高校においては9割近くを占めていることから、高等専修学校との違いが浮き彫りになりました。このほか、「カリキュラムに導入している」という専修学校が全体の3分の2を占めていることや、「生徒に対する評価基準の作成」が65.1%と徐々に増加していることなども明らかになりました。

続いて、職域プロジェクト事業6分野の成果報告が行われました。報告したのは次の専修学校です。

- ①IT・ビジネス分野（郡山学院高等専修学校＝代理・大岡学園高等専修学校）
- ②服飾分野（細谷高等専修学校）
- ③調理衛生分野（大育高等専修学校）
- ④福祉分野＝保育（大岡学園高等専修学校）
- ⑤福祉分野＝介護（安城生活福祉高等専修学校）
- ⑥理容美容分野（国際理容美容専門学校）

第25回全国高等専修学校体育大会 10競技35種目で熱戦繰り広げる



開会式であいさつする(上から)全国高等専修学校協会・清水信一会長、NPO高等専修教育支援協会・堀居英治理事長、文部科学省生涯学習政策局専修学校教育振興室・倉本光正室長補佐



高等専修学校生のスポーツの祭典「第25回全国高等専修学校体育大会」(全国高等専修学校協会、特定非営利活動法人NPO高等専修教育支援協会主催、全国高等専修学校協会体育振興委員会主管、文部科学省、山梨県、富士吉田市、富士河口湖町、公益財団法人JKA、専門学校新聞社後援)が7月27日から3日間、山梨県富士吉田市の富士北麓公園体育館をメイン会場に開かれました。

このスポーツの祭典は平成3年、高等専修学校相互の交流とスポーツを通して健全な精神の涵養、体力の向上などを目的に4競技でスタート。回を重ねるごとに参加選手、競技種目も増え、平成15年から公益財団法人JKAによる「競輪公益資金」の補助を受けて盛大に開催しています。

大会には福島、東京、大阪、兵庫など9都府県19校の選手が参加。軟式野球、バレーボール、バスケットボール、フットサル、陸上競技、自転車競技など10競技35種目で熱戦が繰り広げられました。

世界文化遺産に登録された富士山の北麓公園体育館で開かれた開会式には、大会役員、選手ら約700人が出席。主催者を代表して全国高等専修学校協会の清水信一会長が、「専修学校は今年、制度制定40周年を迎えました。高等専修学校は誕生して40年という若い学校種だが、



職業教育を実践しながら社会的認知を得て現在に至っています。生徒数も7年ぶりに4万人を超し、皆さんはその代表として本日この会場にいます。大会を通し、支えていただいた皆さんに感謝の気持ちを忘れずに、ベストを尽くして試合に臨んでください」とあいさつした。

このあと今大会では、専修学校制度制定40周年を記念して、25年間大会の運営に尽力してきたNPO高等専修教育支援協会の堀居英治理事長に全国専修学校各種学校総連合会から感謝状が贈られました。

続いて来賓を代表して、文部科学省生涯学習政策局専修学校教育振興室の倉本光正室長補佐が「皆さんの生活を支え、応援する家族や熱心に指導していただいた先生方への感謝の心を忘れないでください。また、スポーツができ

る喜びと感動を胸に練習の成果を存分に発揮し、若者らしいはつらつとしたプレーに期待します」と赤池誠章文部科学大臣政務官の祝辞を代読しました。

これに応じて、町田調理師専門学校高等課程(東京)の滝澤篤史選手、細谷高等専修学校(茨城)の大森望選手が「仲間とともに競技ができる喜びに感謝し、世界文化遺産の富士山の下で精一杯プレーすることを誓います」と力強く選手宣誓を行ったあと、各種目で熱い戦いが繰り広げられました。

競技の結果、大竹高等専修学校(東京)が男女バレーボール、男女バスケットボール、フットサル、女子自転車競技団体、女子駅伝競走の7種目を制したほか、生蘭高等専修学校(神奈川)が女子卓球団体、女子陸上競技400㍓リレー、男子駅伝競走の3種目で栄冠。大和商業高等専修学校(神奈川)が軟式野球、男子バドミントン団体、武蔵野東高等専修学校(東京)が男子卓球団体、スポーツ吹矢団体の2種目でそれぞれ優勝しました。また生蘭高等専修学校の大塚悠加選手が、女子陸上競技で400㍓走と走り幅跳びで大会新を更新したほか100㍓走も制しました。大塚選手は女子駅伝競走で区間新(1区)も記録しました。

なお、各競技の準優勝チームには専門学校新聞社からトロフィーが贈られました。



成績結果

■軟式野球

①大和商业高等専修学校②ヨコスカ調理師専門学校高等課程

■バレーボール

【男子】①大竹高等専修学校②町田調理師専門学校高等課程

【女子】①大竹高等専修学校②東放学園高等専修学校

■バスケットボール

【男子】①大竹高等専修学校②町田調理師専門学校高等課程③大和商业高等専修学校

【女子】①大竹高等専修学校②専門学校野田鎌田学園高等課程③安城生活福祉高等専修学校

■卓球

【男子】▼団体①武蔵野東高等専修学校②生蘭高等専修学校

▼個人①飯泉史也(武蔵野東高等専修学校)②深谷亮介(同)③田中大樹(大和商业高等専修学校)大竹孝弥(郡山学院高等専修学校)

【女子】▼団体①生蘭高等専修学校②郡山学院高等専修学校

▼個人①古橋佳純(生蘭高等専修学校)②大森望(細谷高等専修学校)③高橋涼夏(大森家政専門学校高等課程)上野奈央(郡山学院高等専修学校)

■フットサル

①大竹高等専修学校②大和商业高等専修学校

■自転車

【男子】▼団体①専修学校中部国際自動車大学校高等課程②大竹高等専修学校③生蘭高等専修学校

▼個人①西村輝宗(大竹高等専修学校)②田邊恭太郎(野田鎌田学園杉並高等専修学校)③鈴木達也(専修学校中部国際自動車大学校高等課程)

【女子】▼団体①大竹高等専修学校②生蘭高等専修学校

▼個人①古川玲菜(大竹高等専修学校)②石崎さくら(野田鎌田学園杉並高等専修学校)③岡島萌季(生蘭高等専修学校)

■バドミントン

【男子】▼団体①大和商业高等専修学校②町田調理師専門学校高等課程

▼個人①鈴木馨月(大和商业高等専修学校)②伊藤孔(同)③黒田達也(同)横山翔大(町田調理師専門学校高等課程)

【女子】▼団体①町田調理師専門学校高等課程②東京多摩調理製菓専門学校高等課程

▼個人①三浦詩織(町田調理師専門学校高等課程)②高木二葉(同)③武田美菜子(大竹高等専修学校)西川彩乃(大和商业高等専修学校)

■スポーツ吹矢

▼団体①武蔵野東高等専修学校②大竹高等専修学校③生蘭高等専修学校

▼個人①深谷亮介(武蔵野東高等専修学校)②飯泉史也(同)③武内育哉(大竹高等専修学校)

■駅伝競走

【男子】①生蘭高等専修学校②大竹高等専修学校③武蔵野東高等専修学校

【女子】①大竹高等専修学校②生蘭高等専修学校

■陸上

▼種目別成績結果

【男子】▽100㉿決勝=①西岡勇太(専門学校野田鎌田学園高等課程)②金本裕貴(同)③阿部龍樹(郡山学院高等専修学校)

▽400㉿決勝=①星佑有也(郡山学院高等専修学校)②津田悠介(武蔵野東高等専修学校)③長澤圭樹(生蘭高等専修学校)

▽800㉿決勝=①新田崇文(郡山学院高等専修学校)②野口拓矢(専門学校野田鎌田学園高等課程)

③連沼千尋(武蔵野東高等専修学校)▽1500㉿決勝=①山谷祥(生蘭高等専修学校)②新田崇文(郡山学院高等専修学校)③中島幸紀(武蔵野東高等専修学校)

▽走り幅跳び=①西岡勇太(専門学校野田鎌田学園高等課程)②村山蒼磨(同)③金本裕貴(同)

▽砲丸投げ=①菅谷ニコ(専門学校野田鎌田学園高等課程)②金本裕貴(同)③細川伸二(大竹高等専修学校)

▽4×100㉿リレー決勝=①専門学校野田鎌田学園高等課程A②専門学校野田鎌田学園高等課程B、武蔵野東高等専修学校

【女子】▽100㉿決勝=①大塚悠加(生蘭高等専修学校)②山本珠里華(大竹高等専修学校)③中村明日香(野田鎌田学園杉並高等専修学校)

▽400㉿決勝=①大塚悠加(生蘭高等専修学校)②岡島萌季(同)③植村未来(大和商业高等専修学校)

▽800㉿決勝=①山本千夏(大竹高等専修学校)②奥山亶子(同)③丹波琴美(生蘭高等専修学校)

▽1500㉿決勝=①奥山亶子(大竹高等専修学校)②山本千夏(同)③日向蘭南(野田鎌田学園杉並高等専修学校)

▽走り幅跳び=①大塚悠加(生蘭高等専修学校)②山本珠里華(大竹高等専修学校)③岡島萌季(生蘭高等専修学校)

▽砲丸投げ=①植村未来(大和商业高等専修学校)②古川玲菜(大竹高等専修学校)③丹波琴美(生蘭高等専修学校)

▽4×100㉿リレー決勝=①生蘭高等専修学校②大竹高等専修学校

平成 27 年度 高等専修学校への都道府県の助成状況

県名	運営費補助 @…生徒一人あたり	設備費 補 助	生徒へ の助成	授業料 軽減	本会 会員校数	H27 高等課程 生徒数
☆ 北海道	学校法人立指定校・技能連携校 @62,887 円 その他学校法人立 @39,740 円		○	○	5	1,283
☆ 青 森	学校法人立（生徒数が収容定員の3分の1以上等） @27,588 円 非学校法人立（生徒数が収容定員の3分の1以上等） @12,477 円		○	○		209
岩 手	学校法人立 @35,960 円		○	○	3	139
☆ 宮 城	学校法人立指定校 1校 60万円と @32,107 円 その他学校法人立 @19,966 円	○			1	235
秋 田						120
☆ 山 形	学校法人立指定校・技能連携校 @72,278 円 学法立以外 @10,944 円		○	○	2	28
福 島	学校法人立指定校 @46,000 円 その他学校法人立 @22,500 円 非学校法人立指定校 @15,000 円 その他非学校法人立 @ 7,500 円			○	7	901
☆ 茨 城	学校法人立 @65,000 円		○	○	1	605
栃 木	学校法人立 専修学校及び各種学校総額 45,430 千円				2	588
☆ 群 馬	学校法人立・財団法人立指定校 @79,930 円 学校法人立・財団法人立非指定校 @19,930 円		○	○	4	365
☆ 埼 玉	法人立 @76,700 円		○	○	3	732
☆ 千 葉	学校法人立 @169,220 円		○	○	4	793
☆ 東 京	学校法人立 @158,600 円 非学校法人立 @52,800 円 私立専修学校障害児教育事業費補助金（1） @392,000 円	○	○	○	31	3,102
☆ 神奈川	学校法人立 @124,250 円 非学校法人立 @21,300 円			○	7	1,801
☆ 新 潟	学校法人立 @21,700 円		○	○		140
富 山	知事特認校加算 350 万円 学校法人立 1校 100 万円 学生生徒割（専修学校総額） 470 万円	○	○		1	155
石 川	学校法人立指定校・非指定校含む @27,100 円	○	○			73
福 井	学校法人立指定校 @45,000 円			○	2	129
山 梨	学校法人立（県内生） 1校 50万円と @ 4,000 円 学校法人立（県外生） 1校 50万円と @ 2,000 円					89
☆ 長 野	学校法人立（3年制一般補助） @46,440 円 学校法人立（3年制特別補助として加算） @30,000 円		○	○	2	258
岐 阜	学校法人立技能連携校 @59,517 円		○	○	6	797
☆ 静 岡	学校法人立 @88,910 円	○	○		11	1,341
☆ 愛 知	学校法人立 @133,300 円 非学校法人立 1校 978,600 円		○	○	25	7,393
☆ 三 重	学校法人立指定校 1校 15万円と @28,360 円 学校法人立非指定校 @18,850 円		○	○	1	807
滋 賀	学校法人立技能連携校 @80,000 円		○		1	104
京 都	学校法人立（修業年限3年以上） 1校 270 万円 @ 270,000 円 学校法人立（修業年限3年未満） 1校 230 万円 @ 230,000 円 複数学科加算分 1学科 55 万円 @ 55,000 円	○		○		519
☆ 大 阪	学校法人立 @307,700 円	○	○	○	23	5,439
兵 庫	学校法人立指定校 @140,651 円		○	○	18	1,652
奈 良	学校法人立 1校 140 万円 @34,500 円			○	7	368
和歌山	学校法人立 @30,000 円	○		○		137
鳥 取	（専修学校全体）17校 総額 1,869 万 8 千 円 （そのうち、技能教育施設）3校 総額 8,124 万 7 千 円			○	6	415
☆ 島 根	学校法人立指定校 @102,736 円 学校法人立非指定校 @20,437 円	○		○		134
岡 山		○	○		3	251
広 島	学校法人立（3年制） @36,000 円			○	5	1,118
山 口	学校法人立指定校 @70,000 円		○	○	1	596
徳 島			○	○	1	235
香 川			○			167
愛 媛				○		278
高 知	学校法人立 @21,160 円		○	○	2	59
福 岡	学校法人立指定校 @22,500 円	○	○		4	2,772
佐 賀	学校法人立 @11,262 円	○	○	○	3	887
長 崎	学校法人立 @6,300 円					482
熊 本	学校法人立指定校 @15,000 円		○	○	5	816
大 分						436
☆ 宮 崎	学校法人立 @263,300 円	○	○		2	583
鹿 児 島	（学校法人立専修学校全体） 総額 3,322 万 1 千 円				2	104
沖 縄	学校法人立指定校 @ 55,000 円			○	2	460

(1) 交付年度5月1日現在障害児が在籍。

(☆印は前年度比単価等が増額した都道府県)

H27 会員校数
203H27 生徒数
40,095

発行：全国高等専修学校協会

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25（私学会館別館）
TEL.03(3230)4814 FAX.03(3230)2688